

九段会館テラス

所在地：千代田区九段南一丁目6番5号 登録者：合同会社ノーヴェグランデ

◆完成年月 2022年7月 ◆敷地面積 8,766㎡ ◆緑地面積 1,840㎡ (うち樹木面積 1,840㎡)

◆URL：<https://kudan-kaikan-terrace.jp/>

九段会館テラスは、都心部における緑のコアである皇居に近接し、さらに周辺には靖国神社や上野恩賜公園、赤坂御所等のまとまった緑地空間も点在しています。これらの緑地空間には、多数の生物の生息も確認されており、自然環境に恵まれた立地特性を有しています。そのため、これらの恵まれた緑地空間と一体となって緑豊かな環境を創造することにより、このエリアの緑の連続性を拡充することを目指しました。

敷地には、樹高17mほどのクスノキの巨木やお濠沿いに樹高10m前後のソメイヨシノの古木(3本)が現存しており、この地の記憶を継承する貴重な資産として保存しました。新たに植栽する樹木は、在来種のほかに「千代田区生物多様性に関する基礎調査」を基に、生物多様性の指標となる鳥類・チョウ類の誘致目標種(ヒヨドリ・シジュウカラ・メジロ、アオスジアゲハ・ナミアゲハ・クロアゲハ)を設定し、それらの食餌木や食草を計画に取り入れることで、地域全体の生物多様性向上へ寄与する植栽計画としました。またオフィスワーカーをはじめ、多くの人々が訪れる当該施設の特性も踏まえ、特徴的な花や実、葉などを有す園芸品種も点景として取り入れ、季節感の演出や空間に彩りを添えるよう配慮しました。



在来種を取り入れた地上緑地



屋上庭園



お濠など周囲の緑地とつながる植栽計画

保存棟(旧九段会館)の5階屋上には、3つのテラスが設けられ、それぞれ集い・憩う人々を取り囲むように植栽を施しています。保存棟上部の緑化という事で、構造上荷重条件が厳しいこともあり、小高木・中木メインの植栽計画となっていますが、アイレベルでの緑の繋がりに配慮した配植としています。

江戸のみどり登録緑地

<優良緑地>

(2023年2月登録)



在来種植栽情報

○面積割合

高木 46 %
中木及び低木 36 %

○在来種の種数

高木 12 種
中木及び低木 18 種

○おもな樹種

シラカシ、タブノキ、ヤブニッケイ、イロハモミジ ほか